

土曜講座実施要項

鹿児島県総合教育センター

1 目的

教職員等の自主的・自発的な研修を促し、週休日における研修を希望する教職員等のニーズに応えるとともに、学力向上など学校教育に関する今日的課題に対応した講座を開設し、教職員等の資質の向上に資することを目的として、土曜日における研修講座を実施します。

2 開設内容等

「土曜講座開設一覧」のとおり

※ 対象ステージは、かごしま県教員等育成指標（ステージ別資質向上指標）に基づいていますが、どの講座もステージによらず受講可能です。

3 申込方法（※教職員と一般等の方で方法が異なります。）

- Plant（全国教員研修プラットフォーム）【公立学校教職員】

※ Plant の申込は、Plant のフリーワード検索の中に「**土曜講座 253**」と入れて検索をすると申込講座が出てきます。希望する講座を選択して申込みを行い、申込み完了となります。

※ 所属長の Plant 上での承認は不要です。

- Web 上の入力フォーム（Google フォーム）【一般等（学生、一般、行政、県外等）】
開設日の1週間前までに、二次元コード又は Web サイトにアクセスの上、申込みフォームに入力して申し込んでください。

(1) 土曜講座((2)を除く。) https://x.gd/o1XmJ 	(2) かごしま教師塾 in 総合教育センター https://x.gd/VM7iT 
---	--

※ オンラインでの申込みができない方は、企画課（099-294-2312）に相談してください。

4 その他

- 申込みと同時に受講決定となります。受講できない場合のみ該当者に別途連絡します。
- 講座前日までの申込みの取消しは、企画課（Tel 099-294-2312）まで連絡、又は Google フォームの「欠席連絡等の入力」に入力送信してください。
- 講座当日の欠席・遅刻の連絡は、Google フォームの「欠席連絡等の入力」に入力送信してください。※電話での連絡は受け付けておりません。
- 研修に要する経費（旅費、材料費等）は、申込者負担となります。
- 体調が思わしくない場合は、事前に連絡の上、出席を控えるようお願いします。

土曜講座開設一覧

鹿児島県総合教育センター

2月7日 実施分					
番号	講 座 名 (担当者名)		講 座 内 容		対象ステージ 目指す資質
	校 種	定 員	時 間	場 所	
29	「自立活動の指導－実践編－」 (特別支援教育研修課・初村)		今年度、作成、活用した自立活動の個別の指導計画をもとに各自で今年度の振り返りを行い、個別の指導計画の目標に対する評価を行います。次年度への引継ぎ内容を考えるなかで、今後どのような指導内容が考えられるか、これまでの実践を受講者間で共有し、自立活動の指導の実践力アップにつなげるための講座です。		全ステージ エー① エー②
	小・中・義 高・特	30人	9:30 ~ 12:00	大研修室	今年度作成、活用した自立活動の個別の指導計画（氏名、学年は削除する。）

土曜講座開設一覧

鹿児島県総合教育センター

2月28日 実施分

番号	講 座 名 (担当者名)			講 座 内 容		対象ステージ を目指す資質
	校 種	定 員	時 間	場 所	準 備 す る も の 等	
30	実現！楽しい学級経営！！ ~4月からの準備は今のうち～ <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 学生受講可 (教育相談課・鮫島) </div>			来年度、更に充実した学級経営をするための考え方やスキルがたくさん詰まつた講座です。		全ステージ ウー①
	小・中・義・ 高	20人	9:30 ~ 12:00	会 議 室		

土曜講座開設一覧

鹿児島県総合教育センター

3月7日 実施分

番号	講 座 名 (担当者名)			講 座 内 容		対象ステージ を目指す資質
	校 種	定 員	時 間	場 所	準 備 す る も の 等	
31	「学校楽しいーと」を活用した児童生徒理解とチーム支援の在り方 短期研修講座とほぼ同内容 (教育相談課・宮本)			次年度に向けて『学校楽しいーと』を活用したいけどどうしたらいい、にお答えします。「学校楽しいーと」に基づくアセスメントや支援方針の立て方について、基本から講義・演習を通して学びましょう。		全ステージ ウー① ウー②
	小・中・義・高	20人	9:30 ~ 12:00	会 議 室	事例として所属校の児童生徒の「学校楽しいーと」の個票を準備できる方は、児童生徒一人分を5部持参してください（氏名等は伏せたもの）。	

土曜講座開設一覧

鹿児島県総合教育センター

2月7日 実施分

番号	講 座 名 (担当者名)			講 座 内 容		対象ステージ 目標す資質
	校 種	定 員	時 間	場 所	準 備 す る も の 等	
教7	児童生徒理解のポイント (カウンセリング技法) 学生受講可 (教育相談課・天目石)			【かごしま教師塾in総合教育センター】 ⑦】カウンセリング技法に関する演習を通して、児童生徒理解の基礎を一緒に学んでいきましょう。		I (1~5年経験)
	小・中・義 高・特	10人	9:00 ~ 12:00	1号室	筆記用具等	ウー① ウー②

2月28日 実施分

番号	講 座 名 (担当者名)			講 座 内 容		対象ステージ 目標す資質
	校 種	定 員	時 間	場 所	準 備 す る も の 等	
教8	教育者的心得～未来を担う責任と情熱～ 学生受講可 (教職研修課・丸野・永田)			【かごしま教師塾in総合教育センター】 ⑧】本講座では、教師の心得や日々の業務、更に子供たちとの向き合い方や保護者・地域との協働について深く掘り下げます。参加者同士の交流を通し、実践的な指導力を共に磨き上げましょう。		養成期
	小・中・義 高・特	30人	9:00 ~ 12:00	大研修室	筆記用具	A
教9	保護者との関わり方 学生受講可 (教育相談課・鮫島)			【かごしま教師塾in総合教育センター】 ⑨】学級経営において、保護者との関わり方はとても大切です。保護者との関わり方への考え方を知り、演習でスキルを学ぶ講座です。		全ステージ
	小・中・義 高・特	20人	13:00 ~ 16:00	1号室	筆記用具等	ウー① ウー②

※2月7日と2月28日については本庁教職員課の講座が30分程度あります。（3月7日はなし）
 （午前）11:30～12:00 （午後）13:00～13:30

【2月28日のみ】

午前と午後の教職員課の講座は同一内容ですので、午前と午後とも受講される方はどちらかを受講してください。（重複受講も可）

士曜講座開設一覽

鹿児島県総合教育センター

3月7日 実施分						
番号	講 座 名 (担当者名)			講 座 内 容		対象ステージ を目指す資質
	校 種	定 員	時 間	場 所	準備するもの等	
教 10	いよいよ新年度スタート！ これだけはやっておきたい授業準備 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 学生受講可 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> (教科教育研修課・義務教育研修係全員) </div>			<p>【かごしま教師塾in総合教育センター ⑩】新年度、教科指導で何を指導すべきかについて、一教科選択して受講していただきます。小学校4教科、中学校5教科の教科専門研究主事が対面でお話します。最後には小学校、中学校別に集まり、小学校のあれこれ、中学校のあれこれについて質問を受け付けます。</p>		
	小・中・義・特	50人	9:30～12:00	1号室		I (1～5年経験) イー①
教 11	ユニバーサルデザインの視点を生かした学級経営 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 学生受講可 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> (特別支援教育研修課・有馬) </div>			<p>【かごしま教師塾in総合教育センター ⑪】ユニバーサルデザインの視点を生かした学級づくりについて学ぶ講座です。教室環境の整え方、いろいろな特性のある友達についての理解の促し方、特性のある児童生徒への関わり方などについて考えてみませんか。</p>		
	小・中・義・高・特	30人	13:30～16:00	大研修室	筆記用具	I (1～5年経験) ウー① エー①

ステージ別資質向上指標（教員等）

鹿児島県総合教育センター版

ア 必 要 児 童 の 養 育 員 等 と し て	職責・自己研鑽	教育公務員としての崇高な使命感・職責感・倫理観を自覚し、学校及び教職の意義・社会的役割・服務等を理解するとともに、郷土のよさを認識しながら、新しい時代における教育や学校教育を取り巻く国内外の環境の変化に合わせて常に学び続け、自らの学びを振り返りつつ、専門性を主体的に高めることができる。			
	コミュニケーション	児童生徒のよりよい未来の実現に向けて、人権教育を基盤とした教育にかける信念や愛情など豊かな人間性をもち、円滑なコミュニケーションを取りながら、児童生徒や他の教職員、保護者、地域住民等と持続可能な信頼関係を築くことができる。			
	学校組織マネジメント連携協働	学校組織マネジメントの意義を理解し、拡大・多様化する学校の役割に対応するために、郷土の教育的資源や限られた時間を効果的・効率的に用いつつ、学校運営の持続的な改善を支えられるよう、校内における自らの役割を理解して校務に積極的に参画し、学校や学級等の課題をチームとして解決しようとすることができる。			
	安全管理・危機管理	自身や学校の強みや弱みを理解し、自らの力だけでできないことを客観的に捉え、組織の一員として家庭・地域等も含めた他者と協働したり、課題解決に努めたりする姿勢を身に付け、自らの資質向上に努めようとすることができる。			
	求められる資質	養成期	ステージⅠ	ステージⅡ	ステージⅢ
イ 学 習 指 導	(採用前)	目安経験年数（1～5年経験）	目安経験年数（6～10年経験）	目安経験年数（11～20年経験）	目安経験年数（21年経験～）
	○ 関係法令及び学習指導要領における目標や内容等を理解している。	① 児童生徒の学習意欲を引き出す指導力を培い、個別最適な学びや協働的な学びの実現に向けた授業改善に取り組むことができる。	① 児童生徒の身近な社会・生活につながるような単元を構想し、個別最適な学びや協働的な学びの充実を図ることができる。 ② 校内研究会・企画・運営に積極的に携わることができる。	① 新しい指導方法を効果的に取り入れ、他の教員に提案性のある授業を行うことができる。 ② 校内研究会・校外研修会の企画・運営の中心となって、校内研究体制の推進を図ることができる。	① 学力向上や授業改善、授業評価などの視点を常にもち、授業提案を通して、学年や教科の授業改善をリードすることができる。 ② 学校全体の学習指導上の諸課題を把握し、カリキュラム・マネジメントの中心として組織的に実践を進めることができる。
ウ 生 徒 指 導	○ 生徒指導の意義や原理、必要な技法等を理解している。	① 生徒指導の意義や原理を理解し、個々の悩みや思いを共感的に受け止めながら児童生徒の学校生活への適応や人格の成長の援助を行うことができる。 ② 児童生徒一人一人の特性や状況を捉えるとともに、保護者の思いを理解し、他の教職員や関係機関等と協力しながら組織的に対応することができる。 ③ キャリア教育や進路指導の意義を理解し、児童生徒のよさや可能性を自覚させることができる。	① 学年・学校全体の児童生徒の特性や状況を的確に捉え、他の教職員や保護者、関係機関等と協力しながら組織的・計画的な指導方針や手立てを示すことができる。 ② 教育相談の意義や理論を理解しながら児童生徒との信頼関係を構築するとともに、それぞれの可能性や活躍の場を引き出す集団づくりを行なうことができる。	① 経験を踏まえた問題提起や情報提供をしながら他の教職員に適切な助言を行うことができる。 ② 関係機関等と連携を深め、問題解決のための体制づくりをすることができる。 ③ 地域社会と連携しながら学校の教育活動全般を通じて、キャリア教育を推進し、児童生徒が自分らしい生き方を実現するための力を育成することができる。	① 児童生徒が自発的に成長や発達する過程を支える視点をもって、組織を構築し、取組を学校全体で推進することができる。 ② 生徒指導を組織的・効果的に行なうための長期的な見通しをもち、他の教職員に適切な助言・支援を行うことができる。
	○ 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の多様な背景（状態像や特性等）を理解しようとする姿勢をもつとともに、インクルーシブ教育システムの理念を理解している。	① 個の特性や背景を捉えながら適切な実態把握をすることができる。 ② 集団に対する効果的な指導（ユニバーサルデザインの考え方に基づく教科指導等）や個に対する合理的な配慮の提供を可能とする学級経営と授業づくりをすることができる。	① 実践を通して、児童生徒の多様性への理解を深めるとともに、合理的な配慮に基づいた指導・支援を行うことができる。 ② 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒に対して、個に応じた指導を計画的に推進することができる（個別の教育支援計画、個別の指導計画等）。	① 児童生徒の多様性に基づき、困難さの分析に応じて関係機関や専門家などの連携を推進することができる。 ② 教育支援に関する情報を確實に引き継ぎ、切れ目のない支援を推進することができる。	① 校内委員会など組織的・継続的な指導や支援体制を整え、インクルーシブ教育システムの理念に基づいた教育を学校全体で推進することができる。 ② 関係機関や専門家などの連携を積極的に図り、効果的な指導・支援に生かすことができる。
オ 利 教 育 C 用 デ 一 や タ 情 の 報 ・	○ 学校におけるICT活用の意義とともに、育成すべき情報活用能力や情報機器の基礎的活用方法等について理解している。	① 学校におけるICT活用の意義を踏まえ、授業や教材準備、校務等にデータ活用も含めてICTを適切に活用することができる。 ② 育成すべき情報活用能力や情報モラル、情報セキュリティを踏まえた適切なICT活用について、児童生徒に指導することができる。	① 育成すべき情報活用能力を意識してICTを効果的に活用した指導の充実を図ることができる。 ② 情報モラル・情報セキュリティを踏まえた適切なICT活用について、児童生徒に指導することができる。	① 校内研修の中心となり、全職員のICTの効果的な活用を推進することができる。 ② 児童生徒の情報モラルへの理解を含む系統的な情報活用能力の育成を、学校全体で推進することができる。	① 校内の情報・教育データ利用等の推進体制の中核となり、同僚等に適切な指導・助言を行うことができる。 ② 教育活動全体において、ICTや先端技術の効果的な活用及び情報活用能力の育成に係る計画等の評価・改善ができる。
	○ 食に関する指導及び学校給食の管理に関する内容を理解している。	○ 食に関する指導や学校給食の管理等についての基礎的・基盤的な力や実践力を身に付けることができる。	○ これまでの取組を踏まえ、食に関する指導や学校給食の管理等についての専門性を高めることができる。	○ 学校における食育の中心として、食に関する指導や学校給食の管理等についての実践的指導力を發揮して業務に取り組むことができる。	○ 各地域の食育の推進において、中心的な役割を果たすことができる。

ステージ別資質向上指標（各職の特性を踏まえて必要な資質）

※ 教員等に求められる資質に加えることとなる。

職	ステージ	養成期	ステージⅠ	ステージⅡ	ステージⅢ	ステージⅣ
		(採用前)	目安経験年数（1～5年経験）	目安経験年数（6～10年経験）	目安経験年数（11～20年経験）	目安経験年数（21年経験～）
養護教諭	○ 養護教諭として、基本的な職務について理解している。	○ 養護教諭として、必要な基礎的知識や技能を学び、実践を積み重ねることができる。	○ 養護教諭の専門性を高め、チームとしての取組を推進することができる。	○ 養護教諭として主体的に組織運営に関わるとともに、学校保健活動のリーダーとして推進することができる。	○ これまでの経験を生かし、専門的で高度な実践を展開し全校的な視野に立ち組織的な運営を行うことができる。	
栄養教諭	○ 食に関する指導及び学校給食の管理に関する内容を理解している。	○ 食に関する指導や学校給食の管理等についての基礎的・基盤的な力や実践力を身に付けることができる。	○ これまでの取組を踏まえ、食に関する指導や学校給食の管理等についての専門性を高めることができる。	○ 学校における食育の中心として、食に関する指導や学校給食の管理等についての実践的指導力を發揮して業務に取り組むことができる。	○ 各地域の食育の推進において、中心的な役割を果たすことができる。	

ステージ別資質向上指標（管理職）

鹿児島県総合教育センター版

ステージ 求められる資質	教頭	校長
ア 管 理 職 と し て 必 要 な 素 養	a人間性・使命感 教育についての高い見識及び豊かな人権感覚を有し、鹿児島の未来を担う児童生徒を育成する崇高な使命感を自覚するとともに、管理職としての資質・能力を高めることができる。	
	b職責感・倫理観 教育公務員としての範を示し、管理職としての職責感と高い倫理観をもって職務を遂行することができる。	
	cマネジメント (目標に沿った組織運営) 適切な判断と決断を行い、教職員がチームの一員として組織的・協働的に取り組めるようにリーダーシップを発揮し、効率的・効果的に学校組織をマネジメントすることができる。	学校の最高責任者として、的確な判断と決断を行い、教職員や家庭、地域社会と連携・協働してリーダーシップを発揮し、責任を持って学校組織をマネジメントすることができる。
	dアセスメント (評価・分析) 教育活動に関わる様々なデータや学校が置かれている内外環境に関する情報を収集・整理・分析し、校長に報告するとともに、的確に具申をすることができる。	教職員間や学校運営協議会等で共有した教育活動に関わる様々なデータや学校が置かれている内外環境に関する情報に基づいて学校経営ビジョンを策定し、具現化することができる。
	eファシリテーション (相互作用の促進) 学校内外にある資源を活用するため、教職員や児童生徒、保護者や地域の人材、外部の関係機関等との相互作用を促進し、学校の教育力を高めることができる。	学校内外にある資源を活用するため、教職員や児童・生徒、保護者や地域の人材、外部の関係機関等と協働的なネットワークを築いて学校の教育力を高めることができる。
イ 学 校 運 営 ・	「学校教育目標」の実現を図るために、校長の策定した学校経営ビジョンの具体化に向けて、校長の指導の下、学校組織の円滑な運営を行うことができる。	「学校教育目標」の実現を図るために、策定した学校経営ビジョンの具現化に向けて組織的な学校運営を行い、特色ある学校づくりを行うことができる。
ウ 育 り 組 成 ・ 織 職 づ く く	自校の教職員の個性や適性、能力を的確に把握し、年間を通じて計画的に指導助言を行いながら校内の人材育成、組織づくりをすることができる。	人事評価を有効に活用し、自校の教職員の能力開発を行い、職能成長を支えながら、校内の人材育成や後継者育成、組織づくりすることができる。
エ 関 係 づ く り 部 と の	保護者や地域、関係機関等の意見や要望を的確に捉え、関係機関等との連携を図り、適切に対応しながら外部人材を積極的に活用することができる。	保護者や地域、関係機関等との信頼関係と協力関係を築きながら外部人材を積極的に活用した学校経営をすることができる。